

令和3年度「地域年金展開事業」取組経過

令和3年12月末現在
東北福島年金事務所
(福島県代表年金事務所)



日本年金機構

Japan Pension Service

目 次

1 令和3年度の取組経過・	2
(1) 地域連携事業	
(2) 年金セミナー事業	
(3) 地域相談事業	
(4) 年金委員活動支援事業	
2 「ねんきん月間」「年金の日」の取組・	17
3 マスコミでの取り上げ状況・	18
4 福島県内の各年金事務所における取組	19
(東北福島・郡山・平・会津若松・相馬・白河)	
5 福島県地域年金事業運営調整会議	25

1 令和3年度の取組経過

(1) 地域連携事業

① 市町村国民年金担当者研修会の実施

統一した情報の共有と事務の適正化及び効率化を図るため、県内市町村担当者を対象とした国民年金に関する事務処理の説明会を実施しました。

講習会名	事務所名	受講者数
市町村国民年金事務担当(初任者)研修会	各年金事務所	71名

② 退職準備セミナーへの講師派遣

福島県労働福祉協議会主催の退職準備セミナーにおいて、退職を控えている方や数年内に退職を迎えられる方々に対して、年金制度の概要や退職後の年金手続きについての説明を行いました。

事務所名	東北福島	郡山	平	会津若松	相馬	白河	合計
開催日 (各土曜日)	1月29日	10月23日	1月15日	12月18日	11月20日	10月30日	—
参加者数	一名	26名	一名	17名	11名	10名	—

(注)東北福島、平は1月に実施予定

(1) 地域連携事業

③ 事業所の社会保険事務担当者向け説明会の実施

■ 令和3年度 社会保険事務講習会(10～11月開催)

社会保険の適用に関する届出や年金の諸手続きについての説明と、新型コロナウイルス感染症の影響による厚生年金保険料等の特例改定の説明を行いました。

また、感染防止対策が求められるなか、事業所において安心して効率的に手続きが行えるよう、社会保険の電子申請手続きについて周知を図りました。

事務所名	東北福島	郡山	平	会津若松	相馬	白河	合計
回数	2回(2回)	3回(3回)	1回(1回)	1回(1回)	2回(2回)	2回(2回)	11回(11回)
受講者数	255名 237名	300名 252名	161名 136名	123名 126名	106名 71名	98名 63名	1,043名 885名

(注)青字は令和2年度実績

※令和3年度 算定基礎届等事務講習会(6月開催)については、昨年同様に中止し、日本年金機構ホームページに算定基礎届等作成にかかる資料及び動画を掲載いたしました。

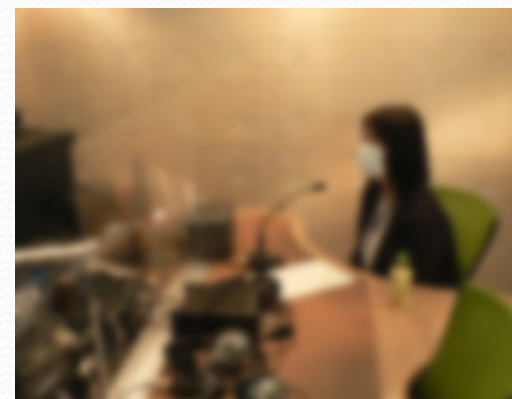
広報については、福島県社会保険協会発行の「社会保険ふくしま」や県内の適用事業所に送付している「日本年金機構からのお知らせ」等で県内の事業所に周知を行いました。

(1) 地域連携事業

④ 管内のラジオ局を活用した制度説明の実施

非対面で多くの方に制度周知を図ることのできる取組として、ラジオ局に依頼し、ラジオによる情報発信を通して、幅広く住民の皆さまに公的年金制度の周知広報を行いました。

収録に際しては、短時間で制度の内容が分かりやすく伝わるように要点を絞ることで、初めて聞いていただいた方にも興味を持っていただけるように工夫しました。



ラジオ局での収録の様子

放送局	放送番組	放送日	放送区域	内容
ラジオ福島	ラジオでしよう	令和3年11月5日	県内全域	国民年金保険料免除を中心とした制度全般
ふくしまFM	RADIOGROOVE	令和3年8月18日	県内全域	国民年金保険料免除を中心とした制度全般
FMポコ	みんなのラジオ	令和3年11月10日	県北地区	国民年金保険料免除を中心とした制度全般
FM Mot-com もとみや	—	随時	本宮市、二本松市、 大玉村、郡山市など	年金給付、国民年金、厚生年金 などの制度全般

(1) 地域連携事業

⑤ 年金受給説明会への講師派遣

年金受給者協会主催の年金受給説明会において、これから年金を請求される方、すでに年金を受給されている方を対象に、年金の請求時や受給後に必要となる手続き、遺族年金についての説明を行いました。

事務所名	東北福島	郡山	平	会津若松	相馬	白河	合計
開催日	12月11日 (土)	12月4日 (土)	12月18日 (土)	—	—	—	—
出席者数	28名	45名	中止	—	—	—	73名

(注)会津若松、相馬、白河は実施なし

⑥ 関係機関・団体等への協力依頼

「ねんきんネット」や「電子申請」の利用促進、「年金制度説明会」の実施などについて、市町村や福島県商工会議所連合会及び福島県商工会連合会、県内の各商工会議所へ協力依頼を行い、制度周知にかかるポスター・パンフレットを配布していただきました。

また、保健福祉事務所や障害者就業・生活支援センター、社会福祉協議会に対して障害年金に特化した制度説明会の実施や、生活保護業務担当者向けの研修の実施について依頼し、相手側からは業務に必要な知識を学ぶ機会として実施したいとお話がありました。

(1) 地域連携事業

■ 制度説明会の実施状況

事務所別	企業・団体等	受講者数	自治体・公的機関等	受講者数	社会保険協会・委員会等	受講者数
東北福島	・福島県社会保険労務士会連絡会議 ・福島県社会保険労務士会福島支部役員会 ・福島県社会保険労務士会福島支部研修会 ・ふくしまFM(ラジオ内で制度説明会) ・福島医療生活協同組合制度説明会 ・福島県国際交流協会制度説明会 ・FM mot-com(ラジオ内で制度説明会)(25回) 予定含 ・ラジオ福島(ラジオ内で制度説明会) ・年金受給説明会(福島市)	9 12 17 - 15 13 - - 28	・管内市町村新任事務担当者研修会 ・福島市生活福祉課生活保護業務担当者研修会 ・福島市蓬萊学習センター(生涯学習講座) ・退職準備セミナー(福島市) 予定	20 35 26 -	・福島県社会保険協会福島支部理事・評議員会 ・福島県社会保険協会定時評議員会 ・社会保険事務講習会(福島市) ・社会保険事務講習会(二本松市)	18 24 207 48
郡山	・退職公務員連盟岩瀬支部制度説明会 ・福島県国際交流協会制度説明会 ・管内事業所制度説明会(4回) ・年金受給説明会(郡山市) ・外国人のための年金講座(予定)	18 10 4 45 -	・ハーローワーク郡山(郡山市にこここども館)制度説明会 ・退職準備セミナー(郡山市) ・福島県立テクノアカデミー郡山 ・福島県立あぶくま支援学校(保護者対象) ・就職支援セミナー(予定)	14 26 2 30 -	・郡山社会保険委員会理事会・研修会 ・福島県社会保険協会郡山支部理事・評議員会 ・郡山社会保険委員会総会・研修会 ・郡山社会保険委員会支部長会 ・社会保険事務講習会(郡山市) ・社会保険事務講習会(須賀川市) ・社会保険事務講習会(田村市) ・福島県社会保険協会郡山支部評議員会	21 12 45 6 245 50 22 10
平	・浜通り医療生活協同組合(制度説明会)	1	・市町村新任担当者説明会 ・福島県立いわき支援学校(保護者対象) ・いわき市立平第二中学校(事務職員対象) ・退職準備セミナー(いわき市) 予定	15 38 20 -	・社会保険事務講習会(いわき市)	161
会津若松	・会津アビオPCスクール制度説明会(2回) ・会津アビオPCスクール制度説明会(2回) ・株式会社 わーくすたいる制度説明会 ・株式会社 わーくすたいる制度説明会(4回) ・トコムOAスクール制度説明会(2回) ・トコムOAスクール制度説明会 ・株式会社 オンデラ 制度説明会 ・管内事業所制度説明会(3回) ・管内事業所制度説明会	32 29 4 55 25 14 14 39 2	・福島県立テクノアカデミー会津(事務担当者) ・福島県立テクノアカデミー会津(指導員、推進員)(2回) ・管内市町村新任事務担当者研修会 ・市町村担当者障害年金事務研修会 ・退職準備セミナー(会津若松市) ・管内市町村制度説明会(障害年金)	7 14 15 19 17 3	・社会保険事務講習会(会津若松市)	123
相馬	・管内事業所制度説明会(6回)	12	・管内市町村国民年金担当者研修会 ・退職準備セミナー(南相馬市)	5 11	・社会保険事務講習会(相馬市) ・社会保険事務講習会(南相馬市)	34 72
白河	・新規適用事業所事務説明会(2回)	10	・管内市町村新任事務担当者研修会(3回) ・退職準備セミナー(白河市) ・福島県中学校長会東西しらかわ支会 ・ハーローワーク白河制度説明会 ・管内市町村制度説明会(7回)	16 10 18 2 21	・社会保険事務講習会(白河市) ・社会保険事務講習会(棚倉町) ・福島県社会保険協会白河支部評議員会	74 29 16

(注)青字はオンラインで実施

(2) 年金セミナー事業

① 教育機関における年金セミナーの実施

福島県教育委員会及び福島県中学校長会、福島県高等学校長協会、福島県特別支援学校長会などへ協力要請を行い、年金セミナーの実施について各学校へ周知いただきました。また、各校長会の会議の中で説明時間をいただき、年金セミナーの実施や「わたしと年金」エッセイの募集について直接、学校長へアプローチを行いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、地域年金推進員や各年金事務所においては、積極的な電話勧奨や文書でのアプローチを行い、実施の拡大に努めました。

■ 学校別実施状況(令和3年4月～令和4年3月予定)

学校別	実施数 ①	実施予定数 ②	合計 ①+②	令和2年度	令和元年度
大学・短期大学	2校(2回)	0校(0回)	2校(2回)	1校(1回)	4校(8回)
専門学校	12校(23回)	2校(2回)	14校(25回)	12校(13回)	12校(15回)
支援学校	2校(2回)	2校(2回)	4校(4回)	2校(2回)	5校(5回)
高等学校	11校(15回)	7校(8回)	18校(23回)	13校(14回)	34校(48回)
中学校	14校(21回)	7校(10回)	21校(31回)	11校(15回)	17校(28回)
合 計	41校(63回)	18校(22回)	59校(85回)	39校(45回)	72校(104回)

(注1)高等学校には通信制を含む (注2)実施数①は4月～12月、実施予定数②は1月～3月

(2) 年金セミナー事業

■ 年金事務所別実施状況(令和3年4月～令和4年3月予定)

学校別	実施数 ①	実施予定数 ②	合計 ①+②	令和2年度	令和元年度
東北福島	6校(9回)	5校(5回)	11校(14回)	5校(5回)	19校(30回)
郡山	11校(19回)	4校(4回)	15校(23回)	13校(14回)	17校(29回)
平	8校(8回)	3校(6回)	11校(14回)	8校(11回)	9校(11回)
会津若松	8校(10回)	2校(3回)	10校(13回)	7校(9回)	14校(16回)
相馬	1校(8回)	0校(0回)	1校(8回)	1校(1回)	6校(8回)
白河	7校(9回)	4校(4回)	11校(13回)	5校(5回)	7校(10回)
合計	41校(63回)	18校(22回)	59校(85回)	39校(45回)	72校(104回)

(注1)高等学校には通信制を含む (注2)実施数①は4月～12月、実施予定数②は1月～3月

② 税務署や社会保険労務士会とのコラボ授業の実施

福島税務署や福島県社会保険労務士会の協力を得て、福島税務署の租税教室や福島県社会保険労務士会のワークルールセミナーとあわせて年金セミナーのコラボ授業を実施しました。

共催名	実施日	実施校名	事務所名
ワークルールセミナー	令和3年 5月17日	学校法人 iwakiへアメイクアカデミー	平
	令和3年12月10日	福島県立勿来高等学校	平
	令和3年12月10日	福島県立喜多方高等学校	会津若松
租税教室	令和3年10月14日	AIZUビューティーカレッジ	会津若松
	令和4年 1月13日(予定)	福島県立四倉高等学校	平

(2) 年金セミナー事業

③ 地域年金推進員の活動

日本年金機構では、学校との連絡・調整や生徒へのプレゼン能力に長けた教職員OB等を「地域年金推進員」として委嘱し、学校に対し個別訪問方式で年金セミナーなどの活動を行っていただいています。福島県では学校長経験者2名が地域年金推進員としてご活躍しております。

令和3年度は電話勧奨を中心として、6月から12月にかけて県内の学校430校に対して337校427回のアプローチを行っていただきました。

また、年金セミナーの講師や講師をする職員へのアドバイスなど豊富な経験を活かして幅広くご活躍いただいています。地域年金推進員による講義を受けた生徒からは「熱意の感じるお話で、大切な部分を強調していて分かりやすかった。」などのご感想をいただきました。



推進員による年金セミナーの様子

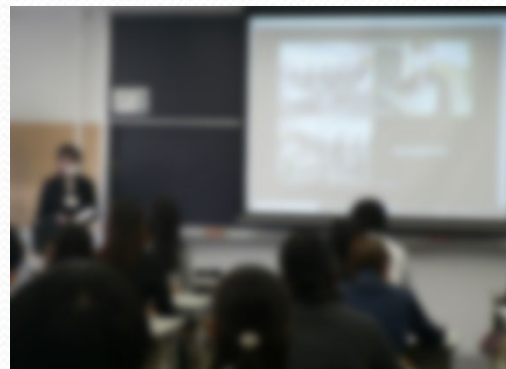
④ オンラインセミナーの実施

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として、日本年金機構では、オンラインで行う年金セミナーなどの取り組みを拡大しています。令和3年度は12月までに7校に対してオンラインセミナーを実施しました。

〈オンラインセミナーの実施方法〉

年金事務所の端末では「Microsoft Teams」を使用してパソコンやスマートフォン、タブレットで受講します。

相手方の設備を利用する際は、相手先へ出向いて実施し、Web会議ツールも「ZOOM」を使用するなど、相手方の環境にあわせて実施しています。



相手先の端末を使用したオンラインセミナーの様子

(2) 年金セミナー事業

⑤ 第2回「福島県年金ポスターコンクール」の取組と結果

公的年金をテーマとしたポスターの作成を通じて、生徒に年金を身近に感じていただき、制度への参加意識を醸成していくことを目的として、福島県内の中学生を対象とした「年金ポスターコンクール」を実施しました。その結果、13校48点の応募をいただきました。

【募集期間】 令和3年6月1日～令和3年9月17日

【入賞】 最優秀賞(1点)、優秀賞(3点)、入選(5点)、厚生労働省東北厚生局長賞〈特別賞〉1点
福島県社会保険協会長賞(1点)

最優秀賞



〈白河市立白河第二中学校〉

厚生労働省
東北厚生局長賞



〈石川町立石川中学校〉

福島県
社会保険協会長賞



〈いわき市立内郷第一中学校〉

最優秀賞など上記3点について、学校へ訪問して授賞式を行いました。当日は、福島民報社、福島民友新聞社より取材いただき、記事を掲載していただきました。

後日、作品集の送付と年金事務所、コラッセふくしま(福島市)の展示スペースでの展示を予定しています。

(2) 年金セミナー事業

■ 年金セミナーの実施状況（大学・専門学校）

実施月	大学	学年	受講者数	事務所名	専門学校	学年	受講者数	事務所名
5月					・学校法人 iwakiヘアメイクアカデミー学校	1、2	40	平
6月					・白河厚生総合病院付属高等看護学院 ・太田看護専門学校(2回)	2 2	31 74	白河 郡山
7月	・福島県農業総合センター農業短期大学校	1	50	白河	・しらかわ介護福祉専門学校 ・福島県立総合衛生学院	2 3	12 8	白河 東北福島
8月								
9月								
10月					・AIZUビューティーカレッジ	1、2	12	会津若松
11月					・郡山ヘアメイクカレッジ ・福島県立テクノアカデミー郡山(2回)	1 2	63 45	郡山 郡山
12月	・福島学院大学	1	45	東北福島	・福島県立テクノアカデミー浜(8回) ・白河医師会白河准看護学院 ・福島看護専門学校(3回) ・仁愛看護福祉専門学校	1、2 2 1～3 2	76 5 135 30	相馬 白河 東北福島 会津若松
1月					・ケイセン公務員ビジネスカレッジ(予定)	1	9	郡山
2月								
3月					・大原看護専門学校(予定)	1	40	東北福島

(注1) 青字はオンラインで実施 (注2) 紫字は動画(DVD)で実施

(2) 年金セミナー事業

■年金セミナーの実施状況（高等学校・支援学校・中学校）①

実施月	高等学校・支援学校	学年	受講者数	事務所名	中学校	学年	受講者数	事務所名
6月								
7月	・福島県立西会津高等学校 ・福島県立耶麻農業高等学校	2 3	16 20	会津若松 会津若松	・会津若松ザペリオ学園中学校	3	40	会津若松
8月					・福島県立会津学鳳中学校(3回)	3	85	会津若松
9月					・福島市立福島第一中学校	3	209	東北福島
10月	・福島県立須賀川高等学校	3	188	郡山				
11月	・星槎国際高等学校郡山学習センター ・磐城緑蔭高等学校	3 3	13 56	郡山 平	・郡山市立安積第二中学校(4回) ・鮫川村立鮫川中学校 ・いわき市立錦中学校 ・いわき市立植田東中学校	2 3 3 3	100 24 61 53	郡山 白河 平 平
12月	・福島県立川口高等学校 ・福島県立勿来高等学校 ・福島県立郡山支援学校 ・福島県立喜多方高等学校 ・福島県立本宮高等学校(2回) ・福島県立船引高等学校(3回) ・福島県立船引高等学校 ・福島県立あぶくま支援学校 ・聖光学院高等学校	3 3 2、3 3 3 1 2、3 3 3	25 48 5 72 17 294 198 16 200	会津若松 平 郡山 会津若松 東北福島 郡山 郡山 郡山 東北福島	・いわき市立内郷第三中学校 ・須賀川市立小塩江中学校 ・福島県田村市立常葉中学校 ・いわき市立内郷第二中学校 ・いわき市立川前中学校 ・白河市立表郷中学校(2回) ・白河市立東北中学校(2回)	3 3 3 3 3 3 3	10 6 48 32 2 47 37	平 郡山 郡山 平 平 白河 白河

(注1) 青字はオンラインで実施 (注2) 紫字は動画(DVD)で実施

(2) 年金セミナー事業

■ 年金セミナーの実施状況（高等学校・支援学校・中学校）②

実施月	高等学校・支援学校	学年	受講者数	事務所名	中学校	学年	受講者数	事務所名
1月 (予定)	・福島県立福島工業高等学校定時制 ・福島県立四倉高等学校 ・須賀川支援学校 ・福島県立郡山北高等学校 ・福島県立福島明成高等学校 ・福島県立福島北高等学校 ・福島県立喜多方桐桜高等学校 ・福島県立いわき翠の杜(2回)	3、4 3 3 3 3 3 3 3、4	22 5 10 39 224 148 151 40	東北福島 平 郡山 郡山 東北福島 東北福島 会津若松 平				
2月 (予定)	・福島県立たむら支援学校高等部	3	13	郡山	・喜多方市立第三中学校 ・伊達市立桃陵中学校 ・西郷村立川谷中学校	3 3 3	48 未定 3	会津若松 東北福島 白河
3月 (予定)					・いわき市立勿来第一中学校(3回) ・白河市立白河第二中学校 ・西郷村立西郷第一中学校 ・西郷村立西郷第二中学校	3 3 3 3	79 未定 未定 未定	平 白河 白河 白河

(注1) 青字はオンラインで実施 (注2) 紫字は動画(DVD)で実施

(3) 地域相談事業

① 出張年金相談の実施

遠方にお住まいの方で、年金事務所へお越しいただくことが困難なお客様のために、市町村での出張年金相談を開催しています。広報については、市町村や福島県社会保険協会の広報誌に掲載いただいているほか、地域型年金委員向け広報紙「支えあい」に掲載して周知に努めています。

また、11月の「ねんきん月間」では、地域のイベントにおいて出張年金相談を実施しました。

■市町村での出張年金相談

事務所	開催市町	実施場所	相談日	開催回数	相談者数
会津若松	喜多方市	喜多方市役所	隔月第2木曜日	4回	18名
相馬	南相馬市	南相馬市役所	毎月第2、4水曜日	10回	30名

② ハローワークにおける国民年金手続きの周知

例年、ハローワークの協力を得て、雇用保険受給者説明会において国民年金の加入や保険料の納付・免除の手続きについてのご案内を行っています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、出向せずに、ハローワークにおいて資料の配布や雇用保険受給者説明会での簡単な説明を行っていただけるよう依頼しました。

また、日本年金機構本部で作成した説明用動画(DVD)を配布し、上映を含めて年金制度や手続きの周知について協力依頼を行いました。

(4) 年金委員活動支援事業

日本年金機構では、年金委員として、政府が管掌する厚生年金保険および国民年金に関する適用・給付・保険料などについて、会社や地域において啓発、相談、助言などの活動を行う民間協力員を委嘱しています。

年金委員は活動により、職域型と地域型の2つに区分され、職域型は主に事業所内での活動、地域型は自治会などの地域において活動していただいています。

年金委員への活動支援として、例年、研修会や連絡会を開催しておりますが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、現在において一部研修会を除き、対面による取り組みを中止しています。

① 年金委員表彰の実施

全国健康保険協会福島支部、福島県社会保険協会、福島県社会保険委員会連合会との共催により、毎年11月に年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式を実施しています。令和3年度は、昨年同様に感染防止対策を講じたうえで、参加人数を限定して行い、関係者を含めて約100名が参加して実施しました。

【開催日】 令和3年11月12日

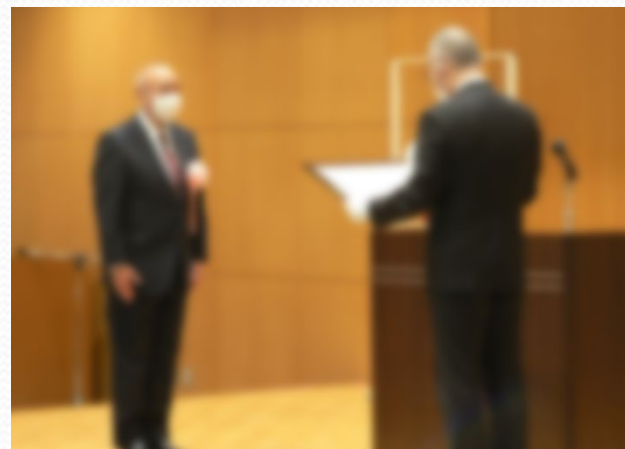
【開催場所】 コラッセふくしま(福島市)

【表彰対象】 厚生労働大臣表彰 2名

日本年金機構理事長表彰 5名

日本年金機構理事表彰 13名

※表彰対象は共催団体の表彰者を除く



表彰式伝達式の様子

(4) 年金委員活動支援事業

② 年金委員の委嘱拡大に向けた取組

地域型・職域型年金委員の委嘱拡大の取り組みとして、各年金事務所において下記のとおり勧奨を行っています。

地域型年金委員については、福島県社会保険労務士会の協力を得て、年金事務所窓口委託社労士の推薦をいただきました。さらに、OBや職域型年金委員からの移行、市町村への協力依頼や広報誌を活用した記事掲載依頼などを行いました。

職域型年金委員については、全国健康保険協会で委嘱されている健康保険委員への勧奨や、職域型年金委員が委嘱されている事業所に対しての複数名設置のお願いを行っています。年金委員制度へのご理解・ご協力をいただき着実に委嘱件数を増やしています。

■各年金事務所の取組

年金委員	内 容	委嘱件数	事業所名
地域型	福島県社会保険労務士会へ推薦依頼	15件	東北福島
	職域型年金委員からの移行を依頼	4件	会津若松
	市町村への協力依頼	1件	東北福島・白河
	OBへの勧奨	6件	東北福島・平
職域型	健康保険委員への勧奨	5件	東北福島・郡山
	年金委員のいる事業所へ複数名設置の依頼	24件	東北福島・郡山
	年金委員未設置事業所への勧奨	67件	各年金事務所
	事業所へ窓口・訪問での依頼	7件	東北福島・相馬

■年金委員委嘱者数

	令和3年 3月末	令和3年 12月末	増減
地域型	94名	120名	+26名
職域型	2,227名	2,343名	+116名

2 「ねんきん月間」「年金の日」の取組

日本年金機構では、11月を「ねんきん月間」として、また11月30日(いいみらい)を「年金の日」として公的年金制度の周知・啓発活動を行っております。

事務所名	取組内容
福島県内	令和3年度 年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式の実施
各年金事務所	令和3年度「社会保険事務講習会」の実施
平・会津若松・相馬	出張年金相談の実施
各年金事務所	管内の学校で年金セミナーを実施
各年金事務所	退職準備セミナーで年金制度説明会の実施
東北福島	コミュニティFMを活用した年金制度説明の実施
郡山・会津若松	管内の事業所で年金制度説明会の実施
白河	新規適用事業所事務説明会の実施
会津若松	市町村担当者障害年金事務研修会の実施
白河	市町村国民年金事務担当(初任者)研修会の実施
白河	管内市町村で制度説明会の実施

※月をまたいだ取り組みについても記載しています。

3 マスコミでの取り上げ状況（一部掲載）

年金セミナーの開催及び「わたしと年金」エッセイ募集等について、県政記者クラブへプレスリリースを行った結果、各紙面へ掲載をいただきました。

掲載年月日	メディア名	事業内容
令和3年5月30日	福島民報新聞	第1回「福島県年金ポスターコンクール」作品展の開催
令和3年5月30日	福島民友新聞	
令和3年7月 8日	福島民友新聞	「わたしと年金」エッセイ募集
令和3年11月10日	福島民報新聞	令和3年度 年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式（受賞者発表）
令和3年11月11日	福島民友新聞	
令和3年11月19日	福島民友新聞	令和3年度 年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式
令和3年11月30日	福島民報新聞	年金の日特集「11月30日は年金の日」です。
令和3年11月30日	福島民友新聞	
令和3年12月14日	福島民報新聞	第2回「福島県年金ポスターコンクール」審査結果発表
令和3年12月17日	福島民友新聞	
令和3年12月17日	福島民報新聞	第2回「福島県年金ポスターコンクール」授賞式
令和3年12月18日	福島民友新聞	

※掲載いただいた一部の内容について紹介しております。

4 福島県内の各年金事務所における取組

東北福島年金事務所

地域連携事業

● オンラインセミナーのための接続テストの実施

年金事務所のWeb会議ツール(Microsoft Teams)を利用して、1月のオンラインセミナーの実施に向けて、事前に相手方の端末とオンラインで結ぶ接続テストを実施しました。

実施にあたり、関係機関へアプローチを行い、希望のあった事業所へQRコードをつけた接続テストのご案内をお送りしました。

相手方の設備環境を確認し、「QRコードが読み込めない」などについても、丁寧に対応することで、当日はスムーズに接続テストを実施することができました。

今後は、実施後のアンケートも活用しながら、オンラインセミナーの機会を広げてまいります。



年金事務所での接続テストの様子

年金委員活動支援

● 年金委員の委嘱拡大の取組

職域型・地域型ともに委員数が減少傾向にありましたが、事務所全体の取り組みとして各課室と連携を図ることで、年金委員制度の周知や委嘱件数の拡大に取り組みました。

その結果、市町村や福祉事務所、事業所などから推薦をいただき、委嘱につなげることができました。

年金制度の周知・広報については、年金委員の役割が重要であり、年金委員制度へのご理解、ご協力をいただきながら、引き続き委嘱拡大に取り組んでまいります。

地域連携事業

● 地域連携事業の取組結果

退職された方や事業所に勤務されている方を対象とした年金制度説明会のほか、今年度は、地域にお住いの外国人の方とWeb会議でつなぎ、年金制度説明会を実施しました。また、子育て世代の女性向けに「子育て」と「働く」を応援する就業支援セミナー」をハローワークと連携し実施しました。

20代30代と若い方が多く、「厚生年金の加入や国民年金第3号のことなど、制度の仕組みを知り、自分がどうすればよいのかの参考になった。」などのご意見をいただきました。

今後も、地域の関係団体と連携し、女性や外国人の方の支援にもなるように、わかりやすい説明を実施していくとともに、地域内で広く年金制度の周知に努めてまいります。

年金セミナー事業

● 年金セミナーの実施結果

学生の皆さんに年金をより身近に感じてもらえるように、若手職員が講師となり、学生・生徒参加型の年金セミナーを実施しました。

受講された学生・生徒からは、「今から老後に備えシミュレーションしておくことが、これからの様々な場面で役立つことも理解できた。自分はどうかのかわかり考えていきたい。」「20歳になったら国民年金に加入することは知っていたが、実際に自分がこれから何をすればよいのかわかった。」など制度理解だけでなく自分事として年金を考えていただけたご意見を数多くいただきました。

引き続き、若い世代の年金制度への理解が深まるように、楽しく、わかりやすいセミナー実施に努めてまいります。



生徒の皆さんも積極的にセミナーに参加しています

平年金事務所

地域連携事業

● ねんきん月間の取組

11月のねんきん月間に、管内にある事業所にご協力いただき、系列スーパーマーケット25店舗において、買い物されたすべてのお客様のレシートへ、年金予約相談周知のメッセージを印字していただきました。

年金セミナー事業

● 年金セミナーの取組

12月末現在で、訪問対面型で5校5回、動画提供(DVD)型で3校3回実施し、1月以降は訪問対面型で3校6回の年金セミナーを予定しています。

セミナー終了後のアンケートには、早くから年金の話が聞けて良かったとの意見が数多く寄せられています。

地域相談事業

● ねんきん月間の取組

11月の「ねんきん月間」には、11月3日の文化の日の祝日において、芸能発表会が行われる地区総合文化祭で、年金制度のチラシ配布および年金相談を実施しました。

年金相談者は3名でしたが、チラシは10名のお客様へ配布することができました。チラシを配布したお客様からは、「このような場所で年金の話が聞けるなんてありがたい」とのお言葉を頂いております。

今後も、今以上に、地域に根差した相談事業を推進いたします。

地域連携事業

● 年金制度説明会の実施

実施数：25回（民間企業、市町村等）

- ・年金制度説明会を通じ、年金制度の知識や手続き、制度改正情報等の周知、啓発に努めました。
- ・今年度は、コロナ禍を踏まえ、Web会議ツールを使用したオンライン制度説明会を積極的行いました。（実施数の内、オンラインによる実施は11回）
- ・引き続き、年金制度説明会実施による周知活動に努めていきます。

年金セミナー事業

● 年金セミナーの実施

実施数：10回（各教育機関）

- ・学生・生徒など若年層の皆さんに、年金制度は身近で重要であることを学んで頂けるよう活動しました。
- ・また、各教育機関の実情に合わせ、セミナー用動画(DVD)を活用した方法でも実施しました。



地域相談事業

● 出張年金相談の実施

実施数：4回（喜多方市）

- ・当該市と連携し実施しました。
- ・年金事務所より遠方にお住まいのお客様の利便性などのニーズに応えるため、年金相談窓口を開設しました。

相馬年金事務所

地域連携事業

● 関係機関(団体)との協力・連携

関係機関(団体)主催の年金制度説明会において、積極的に講師派遣を行うとともに、管内自治体との連携を深め、公的年金制度の周知・啓発に努めてまいります。

年金セミナー事業

● 年金セミナーの取組

コロナウイルス感染防止の観点から、オンラインによるセミナー開催に向け管内教育機関へ実施依頼文書の送付等取り組んでおります。また、分かりやすいセミナーとなるよう、講師となる若手職員を中心にセミナーPTを開催し予行練習を入念に行うことでより良いセミナーになるよう取り組んでいます。

現状1学校のみの実施ですが、参加された学生さんの大多数から「説明が分かり易い」「年金のイメージが良くなった」等好評な意見をいただいております。今後も各学校に積極的に開催を働きかけを行い、受講者の方により年金制度の理解を深めてもらえるよう更なる充実を図っていきます。

地域相談事業

● 出張年金相談の実施

地域住民の利便性を図るため、南相馬市役所への出張年金相談を毎月2回予約制により実施しております。相談に来られた方からは感謝のお言葉をいただくなど好評であり、今後も継続して行っています。

白河年金事務所

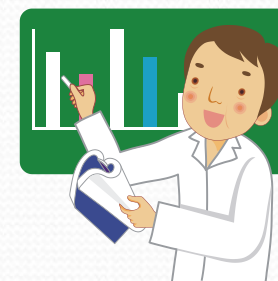
地域連携事業

● 制度説明会の実施と啓発活動

制度説明会及び市町村の広報誌等を活用し、「ねんきんネット」、「電子申請」、「国民年金の免除手続き」等の周知を行ってきました。

また、関係団体主催の制度説明会に積極的に講師を派遣し、年金受給待機者や事業所の事務担当者のニーズに応えた制度説明に務め、取り組んでいます。

引き続き、事業所の事務担当者や地域の方のニーズを捉え、年金制度の周知と啓発に取り組んでまいります。



年金セミナー事業

● 年金セミナーの実施

学生の皆さんが年金制度の知識を深め、その必要性を理解していただくことを目的に、講師3人体制で年金セミナーを実施してきました。

セミナーを受講した生徒さんからは、「年金の必要性が分かった」、「障害年金や遺族年金があることを知れてよかった」等の感想をいただいております。年金制度へのイメージアップにも繋がっております。

今年度は多くの中学校からも年金セミナーの申込をいただいております。今後は受講する世代に応じたセミナー内容の拡充も図りながら、引き続き、わかりやすい年金セミナーの実施に取り組んでまいります。

5 福島県地域年金事業運営調整会議

地域住民の公的年金制度に対する理解をより深め、制度の加入や保険料納付の向上に繋がる地域支援ネットワークの構築及び地域に根ざした年金事業の積極的な推進を図ることを目的として、7月と1月に地域年金事業運営調整会議を開催しています。

7月の会議では、資料に基づき福島県における令和2年度の地域年金展開事業の取組結果及び令和3年度事業計画について説明を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面での開催として各委員の皆様へ資料を送付しました。



各事業における総括と課題

事業種類	総括・課題
地域連携事業	○オンラインセミナー(制度説明会)の実施 Web会議ツールを利用したオンラインによる事業については、県内では今年度から本格的に実施しているところです。12月末までに、オンライン環境が整備された事業所などを中心に、相手方の端末を利用して11か所(15回)の制度説明会を実施しました。 新型コロナウイルス感染症の影響で、オンラインの需要が高まるなかで、今後は年金事務所の端末を利用して市町村や事業所に制度説明会を行っていくなど、オンラインの利便性を活かしながら、年金制度の周知活動を行ってまいります。 また、ラジオを活用しての制度説明会を3か所(20回)で実施し、メディア媒体を活用した取り組みも継続して実施してまいります。
年金セミナー事業	○オンラインセミナー(年金セミナー)の実施 12月末までに、オンラインを利用した年金セミナーを7校(20回)実施しました。そのうち3校は、今まで年金セミナーが未実施の学校でした。動画(DVD)を活用した年金セミナーは10校で実施し、全体の実施件数のうち約4割が非対面での実施となりました。学校の要望に応じて、対面、非対面での提案をしながら、年金セミナー実施に向けた取り組みを引き続き行ってまいります。 また、オンラインは対面に比べて対話形式で行うことが難しく、相手方の反応が分からずに一方向性となる懸念があります。実施後のアンケートなどを活用して、内容の理解度を確認するとともに、内容向上のためにオンラインに対応した講義のできる講師を要請する取り組みを進めてまいります。 ○年金ポスターコンクールの開催 関係機関の後援や協力をいただき、第2回「福島県年金ポスターコンクール」を開催しました。前年と同様に多数の作品の中から、入賞作品を選定して授賞式を行いました。そのなかで、受賞者からは構想から完成まで1か月以上かけたことなどの制作過程を伺いました。年金についてのイメージを具体的に描くことができるように、年金セミナーの実施などを通じて応募件数を増やしてまいります。

事業種類	総括・課題
地域相談事業	○出張年金相談の実施 新型コロナウイルス感染防止対策を行ったうえで、市町村から協力をいただいて会津若松・相馬管内において出張年金相談を実施しました。また、平年金事務所において、地域のイベント内で年金相談を行いました。 年金に興味や関心はあるが、年金事務所まで足を運ぶことが難しい方でも、気軽に相談できる取り組みとして、商業施設やイベントでの開催など、より地域に根差した活動を検討してまいります。
年金委員活動支援事業	○年金委員研修会・連絡会について 年金委員の研修会・連絡会については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、一部を除いて現在まで中止としているところです。 日本年金機構本部における「全国年金委員研修」については、オンラインを利用して少人数で管内の年金事務所に集まりテレビ研修を行いました。 研修会が中止となる状況が続くことで、活動意欲の低下や委員の減少にも繋がる恐れがあることから、オンラインを利用した研修会の実施などについて、県単位、事務所単位で取り組む必要があります。 ○年金委員の委嘱拡大 職域型年金委員については、年金事務所間で情報共有しながら委嘱拡大の取り組みを進めてまいりました。窓口での勧奨では、定年間近の従業員や年金を受給しながら働く従業員がいる事業所では、年金制度への関心が高く、新規の委嘱に繋がりました。今後も委員数を増やしながら、年金関係の情報提供についても行ってまいります。 地域型年金委員については、関係団体の協力で着実に委員数を増やすことができました。地域型については、3年の任期があり、委員が高齢化するなかで、継続して委員数を増やす取り組みが必要です。

第17回「福島県地域年金事業運営調整会議(書面開催)」において、各委員の皆様から質問形式でご意見をいただいております。

■ ご意見等

1. 日本年金機構では、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら、制度説明会や年金セミナー等の実施をしておりますが、制度説明会等を開催する際の、懸念事項等についてお聞かせください。

【ご意見】

- ・県外から講師を招いた場合の対策についてどのようにされているのでしょうか。陽性者が出てしまった時の連絡等の対応はどのようになっているのでしょうか。
- ・新型コロナの感染状況を踏まえた上で開催を検討いただき、広い会場スペースを確保することも重要かと思います。

【回 答】

説明会や、セミナー講師については、依頼のあった管轄の年金事務所職員が対応しております。制度説明会を実施した際は、会場の収容人数の半分程度とし、また、出席者の名簿を作成しました。

2. コロナ禍において、説明会等を開催する際の年金事務所に対する要望等についてお聞かせください。

【ご意見】

- ・感染拡大の状況によってはオンラインによる説明やDVDの活用がよいと思います。
- ・会場に来場しなくても説明が聞ける様な(Zoom等を利用した)開催も検討されてはいかがでしょうか。

【回 答】

DVDについては、機構本部で一括して作成し、現在「年金セミナー」用、「ハローワークの求職者」用、「障害年金の制度説明」用があります。また、新たに外国人や退職者を対象にした動画を作成し、ホームページで公開しております。

Microsoft Teamsを利用した年金セミナー、制度説明会もまだ回数は少ないですが実施しました。

■ ご意見等

3. 日本年金機構では、Web会議ツール(Microsoft Teams)を使用した非対面型の説明会・年金セミナーを推進しております。貴団体様もしくは関係機関での、非対面型の説明会・セミナーの受入れの可否や開催した場合の懸念事項等についてお聞かせください。

【ご意見】

- ・学習センター主催の事業や利用団体の集まり、小・中学校での授業、町内会や各種団体での集まりにおいて受入れが可能と考えられます。施設や団体で機材や操作など対応できないことが想定されます。
- ・実施を検討している学校にとっては説明会・年金セミナーの具体的な内容等がわかるとよいです。
- ・直接の質問等がなかなかしづらい面があります。事前に質問を受け付けたり、Web会議終了後においても一定期間質問を受け付けたり等の工夫が必要かと思います。

【回 答】

今年度においてMicrosoft Teamsを使用した説明会等は、専門学校や市町村用といった設備が整っている団体に限られました。今後は、新規適用を検討している事業所の事業主様を対象にスマートフォンやタブレットを利用して会議に参加されることを想定したオンライン説明会の進め方を検討しております。

説明会等で使用する資料については、事前に送付し、質問についても会議後の個別の対応ができるよう、対応していきます。

※ご意見いただいた一部の内容について紹介しております。

■ ご意見等

4. ねんきんネット、エッセイ募集、ポスターコンクール等の周知のため掲示場所を市町村及び関連施設、学校等へ依頼しておりますが、コロナ禍の状況で周知活動を進めていくにあたり、更に可能で、より地域の皆さんの目に触れる効果的な施設等があればお聞かせください。

【ご意見】

- ・スーパー、銀行、医療機関、駅構内は不特定多数の利用が見込める施設と思われます。
- ・郵便局や病院、あるいは税務署などの行政機関はどうでしょうか。
- ・コラッセふくしま(1Fエントランス、5F展示室)で掲示してはどうでしょうか。

【回 答】

ご意見いただきました施設等に今後協力依頼を働きかけてまいります。

5. 現在、市町村広報誌、ラジオ等の媒体を活用した制度周知活動を推進しております。各団体様の機関誌や放送媒体等において、周知活動に活用可能な媒体があればお聞かせください。

【ご意見】

- ・市ホームページや市のLINE、Facebook、Twitter等のSNS、総合窓口に設置されている広告付番号案内表示システムへの情報掲載が考えられます。(福島市 市民・文化スポーツ部様)
- ・6月初めに記事を集め、7月中旬に発行する「福島年金だより」という機関紙に掲載する予定です。(福島県年金受給者協会連合会様)
- ・各士業団体(行政書士会、税理士会等)の機関紙に掲載をお願いしてはいかがでしょうか。(福島県社会保険労務士会様)
- ・当行発行「所報ふくしま」への掲載、当行HPとのリンク、当行LINEでの発信はどうでしょうか。(福島商工会議所様)

【回 答】

今後、協力依頼をさせていただきます。

■ ご意見等

Q6. その他、ご意見があればお聞かせください。

【ご意見】

- ・Web会議等について情報交換ができればと考えております。
- ・コロナが収まった時への繋ぎの対応（体制確保等）が今は大事であると思います。
- ・コロナ禍の状況にあっても、オンラインやDVDを活用した、年金制度の周知・啓蒙にご尽力お願いします。

※ご意見いただいた一部の内容について紹介しております。